

# 東松山市自治会連合会 自治会だより



第15号  
令和4年1月1日発行



## あいさつ

東松山市自治会連合会 会長 戸森 健治

皆様、明けましておめでとうございます。

日頃より、東松山市自治会連合会に対しまして、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年同様依然として新型コロナウイルス感染症禍にあり、各自治会におかれましてもなかなか地域の活動が行えず、自治会連合会においてもほとんどの事業が中止となりました。

WITHコロナ社会においても、地域活動のリーダーの方々には地域活動への意欲を高めていただくために、基本的な感染防止対策を徹底して、プレウォーク（まちなか再発見）を実施しました。第8回となる今回は、高坂・高坂丘陵地区の「彫刻プロムナード」や「まなびのみち」、「常安寺」が中心でした。

また昨年は、幸いにも大きな台風等の被害もありませんでしたが、新型コロナウイルスの収束がまだ見えない状況の中、自然災害等はいつやってくるのか分かりません。隣近所とのコミュニケーションをとりながら、互近助の精神をもって、地域の皆様のつながりを深めることが大切であると感じています。

結びに、皆様方のさらなるご健勝とご活躍をご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。



## あいさつ

東松山市長 森田 光一

東松山市自治会連合会の皆様には、日頃から市政推進に多大なるご支援をいただき、心から感謝申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症の影響による様々な制約がある中、それぞれの地域の特色を活かした魅力溢れるまちづくりにご尽力いただいていることに、深く敬意を表する次第です。

さて、今年度から、市の最上位計画である「第五次東松山市総合計画」の後期基本計画がスタートしました。前期基本計画で掲げた「観光振興」「産業振興」「子育て支援」の3つに加えて、後期基本計画では「防災・減災対策の推進」と「地域福祉の充実」を新たな重点課題に位置づけました。今までの取組を継承しつつ、元気と希望にあふれたまちを築くため、これまで以上に積極的に諸施策を進めてまいります。

自治会活動はまちづくりの根幹です。市民の皆様がいつまでも安心して心豊かに暮らすことができるまちの実現に向けて、引き続き全力で取り組んでまいりますので、今後ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## 松山地区

### 「松山地区の成り立ちと自治会活動」

#### 松山支部長 暮松 靖弘



松山地区は、明治22年（1889年）に成立した松山町の区域から東平地区・野田地区を除いた地区で、昭和29年（1954年）に東松山市が成立して以来、地理的にも経済的にも東松山市の中心地区となっています。現在、39,880人の人口と19,415世帯が存在し、市全体の約45%を占めています。

松山地区の総自治会数は、30自治会であり、それぞれが特色ある活動を展開しています。大きな自治会では、1,500を超える世帯数がありますが、大規模ゆえの課題を克服しながら工夫して活動を進めています。松山支部の人口は約4万人という大規模のため、松山支部としての主な活動は、市民体育祭と各種の研修会など、支部全体にかかわるものとなっています。また、市長や地区選出議員と意見交換を行い、自治会の要望を市政に反映させる活動も実施しています。

しかしながら、令和2年以降、新型コロナウイルス感染症が拡大し、多くの事業が実施不可能となってしまいました。このような状況にもかかわらず、今年度は感染症対策を徹底して、指導者を招聘した「ラジオ体操指導者講習会」を実施しました。さらに、年度の後半には、地域づくりに関する研修会を予定しています。



ラジオ体操指導者講習会

ワクチン接種が着実に進み、新薬が開発され、感染症が収束し、以前と同様に自治会活動ができる日を待ち望みます。そして、コロナ禍以前を超える活動をさらに目指していきたいと思えます。

コロナ禍で、家から外出することもままならない日々が続いた経験から、人と人との触れ合いの大切さを、身をもって感じさせられました。

これまで以上に自治会活動を活性化させ、人と人が触れ合える街を作っていきましょう。

## 平野地区

### 「果樹園と団地が共存する街」

#### 平野支部長 吉田 稔



平野地区は市北東部に位置し大字東平の「平」と大字野田の「野」の一文字ずつをとって、「平野地区」と称しています。

今日では東平梨で有名ですが、梨やブドウ果樹園と住宅団地が共存するのどかな地域です。3、40年前より高度成長期に合わせてこの地域でも宅地開発が進み、東平（川東、川西地区）、野田、東平新田地区に加え、中山、月中、藤山、殿山町、沢口町、コスモ地区と現在9つの自治会（町内会）で形成されています。平野地区旧住民の皆さんの優しい心根と新住民の皆さんの友好性の豊かさとが、平野の大地の上で穏やかに融合し、各地域との交流が強まり、年間を通じて各種合同イベントや地域祭りでのコミュニティが活性化しています。

また、スリーデーマーチでは、30kmのチェックポイントに当たり、毎年特産の梨をふるまう「おもて梨」を実施しており、海外、国内ウォーカーに大変好評を得ています。

また、活動センター沿いの滑川河川敷には、約200mに渡り曼珠沙華を育て、ウォーキング参加者の励みに貢献しています。



平野文化祭

例年2月には、平野文化祭の催しが開催され、地域から37団体の芸術家や文化人、健康志向者が一堂に会し、1千人以上の来場者でにぎわい、日頃の活動や成果の発表の場となります。昨年度からコロナ禍により、大幅に縮小を強いられ本年度は展示のみの開催を実施予定です。

## 大岡地区

### 「ヒキヒストリーウォーク」 ～大岡地区まちおこし・活性化対策～

#### 大岡支部長 篠原 輝義



2022年に大河ドラマ「鎌倉殿の13人」が放映されます。このドラマの大筋は、鎌倉幕府2代執権・北条義時を中心に、頼家の合議制・御家人集団の内部抗争などを描いた作品であるとのこと。

その中の一人に比企能員がいます。彼とその一族は、伊豆に配流となった頼朝を14歳から20年もの間、請所であった比企地方（現大谷、滑川一帯）から物心両面で支えてきました。このため、鎌倉幕府成立時の重鎮でしたが、北条氏との権力抗争に敗れ、早々に歴史の舞台から退場してしまいます。歯車が少し狂っていたら、北条執権ではなく比企執権が誕生していたかもしれません。

大岡のここ大谷地区には、比企一族の伝承が多く残されています。比丘尼山の尼の庵、串引き沼の若狭の局悲話、城ヶ谷の比企能員館跡、そして、梅ヶ谷、宗悟寺など。

大岡地区ハートピアまちづくり協議会では、このドラマを機縁に大岡地区のまちおこし・活性化対策の一環として「ヒキヒストリーウォーク」を企画立案・開催しました。



ヒキヒストリーウォーク

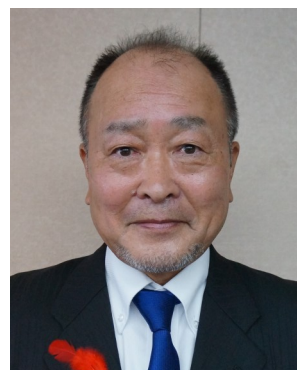
ウォークは2日間・全4回の開催で、延べ170名が参加しました。両日とも午前の部ではセレモニーの後、森田市長をはじめとした「行ってらっしゃいませ」の声に送られ、出発。比企一族の伝承の地、5カ所、約6km・3時間。それぞれの地に残る口碑を、東松山観光協会の方々によるガイドで納得しつつ、秋の清涼な気の満ちる大谷路を、比企一族の歴史に思いを馳せ散策していただきました。

ご参加いただきました多くの皆様、そして、比企一族歴史研究会並びに観光協会の皆様、改めて御礼申し上げます。有難う御座いました。

## 高坂地区

### 「比企一族と高坂地区の現在の取組み」

#### 高坂支部長 林 豊一



高坂地区は、総世帯数約3,300世帯、25の自治会で組織されています。

その高坂では今、2022年正月からスタートするNHK大河ドラマに登場する、比企遠宗と比企尼夫婦の猶子で、信濃の目代と守護職の任に当たった「比企能員」と、征夷大將軍源頼朝の乳母として、幼かった頼朝が伊豆蛭ヶ小島に流刑になった後も、物心両面において20年の間支援した「比企尼」ゆかりの

「坂東十番岩殿山正法寺」、また、その門前町として栄えた岩殿地区が存することで、大いに期待しドラマが始まるのを楽しみに待ち望んでいるところです。

高坂地区ハートピアまちづくり協議会・岩殿まちおこし特別部会では、これを高坂そして岩殿地域のPRの絶好の機会としてとらえ、比企能員ののぼり旗100本を作製し、正法寺参道の住宅地内や高坂地区の公共施設や関連個所にものぼり旗を設置して、地域PRに取り組んでいるところです。



岩殿門前町に設置されたのぼり旗

また、高坂地区ハートピアまちづくり協議会では、岩殿地区の魅力を伝える「岩殿魅力発信写真コンテスト」も開催中です。このコンテストは、テーマを、物見山やこども動物自然公園等、岩殿地区をモチーフとした写真ならば参加できるとして広く募集しており、1月20日まで開催しています。

これからも、機会をとらえて地域の特性を発信し、地域の皆さんが誇りをもって暮らせる高坂地区コミュニティの増進に取り組んでまいりますので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 唐子地区

### 「発展途上にある唐子地区」

#### 唐子支部長 市川 常雄



唐子地区区長会、唐子地区ハートピアまちづくり協議会の主催事業は、令和3年度も前年度に引き続き、新型コロナ禍にあり、花いっぱい活動、月例ウォーキング、文化祭（展示のみ）以外は事業実施を、断念せざるを得ない状況が続きました。残る年度内において防災訓練、都幾川河川清掃等を実施する予定ですが、唐子地区10自治会（14行政区）においても、ことごとく中止をせざるを得ない状況であったことから、人的交流の場を閉ざされ、殺伐とした感が否めない状況にあります。

このような現況ですが、商業・工業・農業分野において唐子地区として、発展していることは紛れもない事実です。工業においては、各企業が定着している新郷工業団地に加え、葛袋産業団地の各企業も操業し、関越自動車道 東松山IC周辺の既存の流通企業群に加え、現在造成・建設中の、石橋地区の新たな開発や、国道254号沿線も開発余地の残る地域を有しています。また、農業分野においては、上唐子地区の遊休農地を活用した、企業による「いちご生産」事業も拡大しており、新たな農業経営を示唆しています。就農者の高齢化により、農業生産の継承がままならぬ現在、企業・法人による農業経営が現実化しているものと思われます。



くらかけ清流の郷展望台からの景観  
（遊休農地を活用し、いちご生産を大規模に展開する企業のハウス）

商業についても、高齢化に対し、買い物難民が発生すると懸念されており、先行きの心配はあるものの、従来からの個人経営店や、大型店による事業経営があります。

観光事業については、「くらかけ清流の郷」や、「化石と自然の体験館」等の資源もあり、今後も、各地域の文化や生活様式が存在する唐子地区を再発見し、さらに、地域発展に寄与して参りたいと存じます。

## 高坂丘陵地区

### 「コロナ禍における活動」

#### 高坂丘陵支部長 戸森 健治



一昨年・昨年と2年続けて夏の風物詩である「夏祭り」が開催できないことになり、夏がやはり寂しいとの声がありましたので、みこし等の展示（7月3日から8月21日迄）をしました。丘陵みこしの会の協力で、みこしに付いたほこりをきれいに掃い、高坂丘陵市民活動センターのホールとマミーマート松風台店のエントランスが昨年の舞台になりました。このみこしには「氏神様」がいないかわりに、中に「芳名帳」が納められており、地域の方々の善意の塊です。昨年の夏は、地域の皆様に「祭り気分」を届けられたと思います。



高坂丘陵センターホールに飾られた  
手作りの大人みこし、子どもみこし、  
桶太鼓と半纏

コロナ禍の中でも、丘陵地区では「あいさつ運動」を継続実施しています。この活動は平成23年より始まり、地区内の小中学校の児童・生徒に夏休みの課題として楽しくわかり易い標語とポスターの制作を依頼し、各賞の選定・表彰をするとともに、入選作品を自治会掲示板に掲出しています。この運動を進めた結果、あいさつを通じた心の交流や防犯の一助となる等安全・安心なまちづくりに貢献しています。

なお、令和元年度に「心豊かで住みよい地域社会をつくる活動」として、第51回「埼玉県シラコバト賞」を受賞しました。

## 野本地区

### 「野本の名所づくりと地域コミュニティの醸成」

#### 野本支部長 鳶 敏和



台風19号による水害からコロナ禍に至る2年間を振り返ると、会食を伴う寄合や祭は悉く中止を余儀なくされ、その虚無感から「町内会活動は会食を伴う寄合や祭で成り立っている。」ことをつくづく思い知らされました。

それはさておき、野本支部の特色ある催し物を紹介させていただきます。

まずは、野本地区の秋の風物詩『かかし祭コンテスト』です。かかしを媒体として地域住民のふれあいと野本づくりの啓発活動等を図るのが目的です。昨年も少人数で取り組める『一本足かかし部門』に絞り、新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じて、コンテストを実施しました。応募は一昨年実績28件に対して27件あり、ますますでした。

次は、野本地区の春の風物詩『野本さくらの里』です。平成25年度から3年間にわたり、都幾川左岸の旧堤防敷に138本の横浜緋桜の苗を植え、地域の名所・コミュニティの場として、野本さくらの里を創設しました。通常のソメイヨシノとは異なり、横浜緋桜は緋色の花を咲かせます。その緋色が、堤防敷に咲く菜の花の黄色と絶妙なコントラストを示します。



野本さくらの里

横浜緋桜の希少性も相俟って、「東松山の桜」といえば、野本の横浜緋桜を指す日も近いこととされます。今後は、市内に誇れる集いの場『(仮称)さくらまつり』が令和6年度に開催されるよう、来訪者用駐車場やベンチなどの整備に努めるとともに、日常的な除草管理や物品の不法投棄防止策などの充実を図ります。

以上、野本の名所づくりと地域コミュニティの醸成についての紹介でした。今年こそは、マスクが取れて、早く元の生活に戻りたいのですが、一旦萎んだ風船をまた膨らませるには相当のエネルギーが必要です。皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

### 特殊詐欺にご注意ください

#### 還付金詐欺

「保険料の還付金がある」  
「ATMで手続きができる」



#### 振り込め詐欺

「風邪をひいた」  
「携帯の番号が変わった」

#### 預貯金詐欺

「暗証番号を教えて」  
「キャッシュカードを取りかえる」

#### 架空料金請求詐欺

「電子マネーの番号を教えて」

被害に遭わないためには・・・

- 『電話を留守番電話に設定する』
- 『ナンバーディスプレイで相手を確認する』
- 『お金の話が出たら電話を切り、家族に相談する』  
などの対策をしましょう。

### 『回覧板』を配布しています

自治会連合会では、自治会で回覧物等を挟むための「回覧板」を定期的を作成しています。

長く使っていて古くなっていたり、雨に濡れてヨシヨシしているものなどがありましたら、新しい回覧板をお渡しすることができます。

新しい回覧板が必要な場合は、下記配布場所の窓口までお越しください。



#### 配布場所

- ・地域支援課  
(市役所本庁舎2階)
- ・各市民活動センター

# プレウォーク まちなか再発見！！



令和3年10月11日（月）に、高坂地区と高坂丘陵地区をウォーキングする「プレウォーク まちなか再発見！！」が開催されました。このウォーキングは、「東松山市」の新たな魅力を再発見できる機会として、各支部で順番に開催し、今年度で8回目となります。

当日は、晴天に恵まれ、各地区の自治会・町内会、活動センターから67名の方が参加しました。開会式では森田市長からご挨拶をいただき、出発時にはお見送りをいただきました。

途中、常安寺では、ご住職からお寺の由来等のお話をお聞きしました。

参加者からは、「普段歩かない場所をウォーキングでき、新たな発見があった」との感想もあり、地域の新しい魅力を発見できた一日となりました。

## コース

高坂丘陵市民活動センター ⇒ 彫刻通り ⇒ 高坂駅西口 ⇒ まなびのみち(廃線敷)  
⇒ 常安寺 ⇒ 松風公園 ⇒ 高坂丘陵市民活動センター



活動センターを出発



まなびのみち～廃線敷～



常安寺でのご住職の講和



高坂彫刻プロムナード



松風公園

## 編集後記

新年を迎えると、今年はどうな年にしようかな、と小さなことでも目標を立てて頑張ろう！挑戦してみよう！という気持ちになります。

今年は、マスクを外して・・・とまではいなくても、皆さんが笑顔で過ごせる年になればいいなと思います。



発行：東松山市自治会連合会

問合せ 東松山市役所 地域支援課

東松山市松葉町1丁目1番58号

電話：0493(21)1435(直通)

FAX：0493(23)2236